

令和6年度 第1回 藤沢市立鵜洋小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年5月24日（金）10時～12時
場 所 鵜洋小学校 相談室

出席委員等	<p>河村 満 会長／鵜沼ふれあいトライアングル 代表 亀本 淳夫 副会長／鵜洋小学校 校長 坂田 千鶴代 鵜沼南地区民生委員児童委員協議会 副会長 徳永 理加 鵜沼南地区民生委員児童委員協議会 主任児童委員 吉田 正彦 学識経験者（元鵜洋小学校校長） 浪川 征子 どんろんこ児童クラブ 代表 後藤 洋平 KFP（鵜洋ファザーズパトロール）代表 上田 舞子 鵜洋小学校PTA 代表 山口 秀俊 鵜沼市民センター センター長 駒場 亜以 鵜洋小学校 児童支援担当教諭 出席委員：10名（欠席委員：寺田言子、植松梢 以上2名）</p> <p>-----</p> <p>事務局：亀本 淳夫（鵜洋小学校校長） 傍聴人数：0名</p>
次第	<p>1 開 会 2 委嘱状等の交付 3 自己紹介 4 会長ならびに副会長の選出 5 議 題 （1）令和6年度鵜洋小学校学校運営方針について（学校長） （2）学校支援について（学校長） （3）学校の現状と課題（学校長） （4）その他 6 その他 次回の会議日程 7 閉会</p>
協議内容	<p>（1）令和6年度鵜洋小学校学校運営方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 亀本副会長 学校教育目標「えがお、あいさつ、まなびあい」の説明 重点目標「物事を多角的な視点から捉え、自分の考えを深める教育活動の推進」の説明 ・ 全委員 承認 <p>（2）学校支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 亀本副会長 4・5月の校外行事では、KFPに出発時の見守り、民児協の方々に引率をお手伝いいただいた。また、民児協の皆さんには、普段の給食指

導・清掃指導もしていただいている。感謝申し上げます。

6・7月の学校行事は、3日プール清掃、11～12日八ヶ岳野外体験教室
27・28日学校公開日、7月4日6年東京見学の予定。

・後藤委員

また、夏休みのプール管理（薬注作業）を手伝っていただきたい
八ヶ岳、東京見学とも八部公園のバス乗車まで、KFPで見守りをさ
せていただく

・亀本副会長

学校公開の日は、どのようなお手伝いが必要か

公開日は、全校一斉のため、自転車での来校は控えてもらうよう、
案内しているが、乗ってくる方がいた場合は誘導をお願いしたい。

・浪川委員

夏休みは、児童クラブでプールを使わせてもらうことが多い。

できる限り、薬注のお手伝いをしたい。他のクラブとも確認する。

・徳永委員

6・7月も給食と清掃のお手伝いをさせていただく。学校からの希望
日程表を30日までにいただきたい。

(3) 学校の現状の課題について

・亀本副会長

下校時の歩き方について、地域からの厳しいご意見をいただいた。
登校時は、保護者や地域の方々が等、たくさんの大人の方が見守っ
てくれているが、下校時は子どもだけになってしまう。

・吉田委員

1年生の子どもは、それまで、バスでの通園、または保護者の自転
車に乗って等、自分の足で歩いて通学するといった経験がない子た
ちである。そう考えれば、できなくて当たり前。しかし、どこかで
指導しなければ状況は変わらない。「交通安全指導は家庭でするも
の」という考え方もあるが、それだとしてもらえない子は、いつま
で経っても分からないままである。学校でも学級指導等で注意喚起
していると思うが、校外行事をうまく活用して、事前に歩き方の指
導、事後に振り返りなど、ちょっと時間を取ってやってもらえば、
効果的に伝わると思う。

・後藤委員

KFPで見守りをしている時でも、反対から来る歩行者・自転車を避け
ようとせずに行ったり、突然、歩道に飛び出したりと、ヒヤヒヤさせ
られることがある。

もちろんその場で注意するよう促すが、メンバーによっては、どん
なトーンで子どもを注意したら良いのか悩む者もいる。

子ども一人ひとりのことが分かっているならば、また、関係ができてい
れば、悩むことではないかもしれないが、普段顔を見ない見知らぬ
おじさんに、きつく言われれば、その方が怖いと思うだろう。

・吉田委員

民児協やKFPの方が、見守りや遠足等への帯同をしてくれている。
校外行事に大人の同行者が増えることは、子どもたちの安全確保と
いう意味でも、学校としてもありがたいことだと思う。であれば、
その方たちが、見守りや帯同をやりやすくするために、出発前の
事前指導で、同行者としてきちんと紹介してほしいし、できるだけ
先生側からもコミュニケーションを取っていただきたい。

・河村会長

私は、学習指導員として、鶴洋小で個別指導や家庭科実習の補助を
しているが、やはり、初めて顔を合わせる子には、どう対処して良
いか迷うことがある。定期的に顔を合わせるようになれば、相手と
の距離感も分かってくるので、悩むことはなくなるが、まだ慣れな

- いうちは、先生方にサポートしてもらえるととてもありがたく感じる。
- ・ 後藤委員 校長から、帯同にあたってのガイドラインを示してもらったが、自分は隊長という立場で、校長とは何度も話しをしているので、そのニュアンスは伝わるが、メンバーはそこまでではないので、文章をそのまま受け取って、却って関わり方を悩んでしまうようである。「自分には無理だから、関わらない方がよい」となってしまうと、保護者と学校の間溝が深まってしまい、心配である。
 - ・ 徳永委員 私が遠足に付いていった時は、先生方からその都度指示をいただけたので、やりやすかった。しかし、民児協の中には、帯同の際、何も指示をいただかず、なので何をして良いのか分からず、結局、何もせずに終わってしまったと言っていた方もいた。先生方はもちろん、子どもの指導が中心なので、大人とは言え、勝手の分からない者の面倒は大変だと思うが、急に体調が悪くなった子や、トイレに行きたくなったという子に対して、先生方の手を煩わせることなく、対処できる大人がいることは、役に立つのではないかと思っている。今後とも、是非、お互いがやりやすくなるよう考えてもらえると嬉しい。
 - ・ 亀本副会長 もう一点の課題は、ベルマークサークルや図書ボランティアのメンバーが少なくなっていること。保護者のサークルやボランティアは、KFPも同様、有志を募ってやっていただいているが、年々入会してくれる方が減っている。先日、ベルマークサークルや図書ボランティアの代表の方とお話した際に、KFPを例に挙げて、後藤委員が隊員を集めるために、いろいろと工夫されていることを伝えた。本校の教育活動は、地域や保護者の様々な団体の方々に支えられている。ベルマークサークルや図書ボランティアが、消滅してしまっただけでは困るので、まずは、学校だよりで案内したり、メンバー募集のチラシを配布したりすることを考えている。ベルマークの仕分け作業や、図書ボランティアの活動について、委員の皆さんも、それぞれの所属団体で、参加・協力を呼びかけて欲しい。
 - ・ 河村会長 それでは、本日の議題は、以上となります。
 - ・ 事務局 次回は、引き続き登下校時の歩き方、また、昨年度からの防災教育への取り組みについて、協議していきたい。

以上

次回開催予定 2024年7月11日(木) 10時～
場 所 鶴洋小学校 相談室